

新任医師の紹介②

循環器内科

伊藤 みゆき (イトウ ミユキ)

はじめまして。平成31年4月から自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科より赴任しました伊藤みゆきと申します。心不全や心臓の画像診断を専門とした臨床や研究に従事して参りました。一人ひとりの患者さまに誠実に向き合い日々の診療に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

循環器内科

堀 陽一 (ホリ ヨウイチ)

平成31年4月から赴任しました堀陽一と申します。昨年度までは自治医科大学附属さいたま医療センターに勤務し、循環器内科医として虚血性心疾患、心不全治療等に携わって参りました。新天地の練馬で、微力ながらも皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。宜しくお願い致します。

循環器内科

赤池 永成 (アカイケ エイセイ)

平成31年4月より半年間お世話になります循環器内科の赤池永成と申します。これまで自治医科大学さいたま医療センターに初期研修医として勤務しておりました。地域の皆様のお力になれるよう、精一杯努力してまいります。半年間という短い期間ではありますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

泌尿器科

岩本 侑也 (イワモト ユウヤ)

はじめまして、本年度より練馬光が丘病院に赴任しました。泌尿器科の岩本侑也と申します。昨年度までは東京慈恵会医科大学附属病院に勤務しておりました。皆様の健康の支えとなる最良の医療を提供できるよう、日々努力して参ります。お困りのことがあれば、いつでも気軽に外来へご相談下さい。どうぞよろしくお願い致します。

産婦人科

紀平 力 (キヒラ チカラ)

4月より産婦人科医師として働いています。以前は、三重県の周産期センターを中心に勤務しました。今年の目標は、産婦人科専門医かつ臨床遺伝専門医のキャリアを活かし、練馬区未導入の、「新型出生検査 NIPT」を開始予定です。出生前検査を受けた妊婦さんが増えている背景もあり準備をしています。よろしくお願ひします。

呼吸器内科

高橋 太郎 (タカハシ タロウ)

平成31年4月より練馬光が丘病院に呼吸器内科に赴任致しました。これまで神奈川県川崎市にありまして日本調管病院で勤務しておりました。微力ではございますが、地域の皆様をサポートできるよう日々努めて参ります。今後とも宜しくお願い致します。

外科

福井 太郎 (フカイ タロウ)

はじめまして。平成31年4月に自治医科大学附属さいたま医療センターより赴任いたしました外科の福井太郎と申します。練馬こぶしハーフマラソンを何度か走ったことがあり、線に囲まれた病院の建物は拝見していましたが、晴れて働けることになり大変光栄です。院内のシステムにいち早く慣れ、院内の皆様の役に立てるよう日々精進して参ります。何卒よろしくお願ひします。

糖尿病内科

引間 雄介 (ヒキマ ユウスケ)

平成31年4月より、練馬光が丘病院に赴任しました引間雄介と申します。昨年度までは大学病院で内分泌疾患を中心に研究・臨床を行って参りました。糖尿病のみならず、そのほかの内分泌疾患でもお力になれると思います。お気軽にご相談下さい。どうぞよろしくお願い致します。

お知らせ

区民健康講座予定表

日時	場所	内容	講演者
2019年 6月15日(土) 14:00~	光が丘区民 センター3階 多目的ホール	タバコと肺の病気	呼吸器COPD センター長 杉山 幸比古先生
2019年 7月27日(土) 14:00~	光が丘区民 センター3階 多目的ホール	心房細動って、 どんな病気? 熱中症の予防と 対策	循環器内科 中村 洋範先生 看護師

問合せ: 地域連携相談センター
月曜～金曜日 / 9:00～16:30
TEL / 03-3979-3611(内線) / 3156

※ 要事前予約必要

練馬光が丘病院

第10回 Spring Concert きらきらコンサート開催しました

3月22日(金)に第10回きらきらコンサートを開催いたしました。今回は当院の初期研修医地阪光代とその妹さんのピアニストを目指されている地阪幸恵さんのピアノとバイオリンのコンサート開催いたしました。曲目も春らしく滝廉太郎「花」やスタジオジブリのメドレーなど華やかなものが多く、これからの暖かな季節を感じる一時となりました。今後さまざまなコンサートの企画をしていきたいと思いますので、是非ご参加いただければ幸いです。(地域連携相談センター 渋谷 詩乃)

きらきらレター

Kirakira-Letter

令和元年5月

公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院 広報紙

第57号



もくじ

新体制について紹介	2	新任医師の紹介②	4
新任医師の紹介①	3	お知らせ	4
		第10回きらきらコンサート開催しました	4

練馬光が丘病院は「公益社団法人地域医療振興協会」の運営施設です。地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に1987年5月に設立され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

発行元: 練馬光が丘病院

〒179-0072 東京都練馬区光が丘2-11-1
TEL: 03-3979-3611(代)
http://hikarigaoka.jadecom.or.jp

新体制についての紹介

院長 光定 誠 (ミツサダ マコト)



このたび川上前病院長が退任され、4月1日より着任致しましたのでご挨拶申し上げます。自己紹介としましては和歌山県生まれ、東京育ちです。自治医科大学卒業後は都立駒込病院で研修し、その後東京都の僻地である小笠原諸島の父島や伊豆大島でも勤務致しました。また広尾病院では20年以上にわたり消化器外科や救命救急センターで消化器癌や急性腹症の手術及び重症外傷診療に従事してまいりました。練馬光が丘病院には日本大学から運営移行した平成24年の7月から勤務しております。これまで地域住民の皆様方、医師会や医療関係者の皆様には区関係者の方々とともに区内の災害対策の会議や救護所訓練などの現場でご一緒する機会も多く、大変お世話になってまいりました。

さて当院が所属する公益社団法人地域医療振興協会は「地域の医療の確保と質の向上を図り、もって地域の振興を図ること」を目的として設立され、当院は「皆様とともに地域の発展に貢献します」という理念のもとに救急、小児、周産期、災害時医療を中心に、練馬区や区西北部エリアを中心とした地域の急性期医療の充実にこれまで努めてまいりました。これまで少しずつではありますが地域の皆様のご要望に応えられるように活動範囲を拡大してきております。

当院における今年度の新たなビジョンと致しましては①総合診療と専門診療は両輪・両方の充実をはかる、②患者さま中心の医療を徹底する、③滞りなく新病院の開設準備を進める、の3点となっております。①につきましては、当院で総合診療を担うのは総合診療科や救急集中治療科及び小児科です。疾患や臓器別に捉われず総合的かつ系統的に診療します。救急での初期対応においては、まず全身状態の安定化をはかり、その後の集中治療や総合診療にシームレスに移行できる体制となっています。また専門診療につきましては循環器、呼吸器、消化器の各センターを始め、それぞれの診療科で種々の急性及び慢性疾患について、より深く掘り下げて専門的に対処いたします。特に循環器領域では急性大動脈疾患をはじめ心筋梗塞や狭心症、呼吸器では慢性閉塞性肺疾患などの対応症例数が増加しております。また大腸がんや肺がん、乳がん、泌尿器領域がんなどを始め、各領域の癌や悪性腫瘍の治療・手術件数も増加しています。その治療については内視鏡や胸腔鏡、腹腔鏡といった各種の体に優しい方法、低侵襲手術を駆使しており、今後はさらに力を入れていく予定です。②の患者さま中心の医療につきましてはスタッフのさらなる充実と十分な医療安全の確保に裏打ちされるものと考えており、日々の改善のために職員一同で精一杯努力致してまいります。また③の新病院につきまして計画の詳細を皆様にご説明させて頂く機会を早々に設ける予定となっておりますので、なにとぞ宜しくお願い致します。

今後は益々、住民の皆様や周辺医療機関等との連携を密にして、地域の医療ニーズにより一層応えられるように、また医療サービスや災害対応が向上できるように努力してまいります。

時々ERや外科外来でも勤務しておりますので、お気軽に声をかけて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します！

看護部 部長 大城 優子 (オシロ ユウコ)



皆様はじめまして。平成31年4月1日に看護部長に着任いたしました大城優子と申します。私は練馬区民になって21年が経とうとしています。7年前、練馬区のこの地に病院がなくなるかもしれないということに、子供や親と一緒に暮らすとして大きな不安を覚えました。何か力にならないだろうかと微力ながら考え資格をいかし、開院年度から看護師として勤務しております。開院から7年間「豊かな感性と思いやりの心で満足して頂ける看護を提供いたします」の看護理念のもと、急性期病院として安全で安心な医療・看護の提供を第一に考え、地域の皆様に満足していただける看護の提供を行うことが出来るよう取り組んできました。そして、当院の基本方針である急性期医療・小児医療・周産期医療・災害時医療が行なえる看護専門職として地域のニーズに対応できる看護師の育成を目指し、各種キャリア支援制度を整え、看護師個々のキャリアアップを支援してきました。これらのことを重点におきながら、地域の皆様に信頼される病院づくり、皆様に寄り添える看護をスタッフ一同力を合せて実践してまいりますので、今後ともさらなる御指導、御支援をお願い申し上げます。

新任医師の紹介 ①

乳腺外科 部長 平田 勝 (ヒラタ マサル)



初めまして。平成31年4月1日より練馬光が丘病院乳腺外科に赴任しました、平田勝と申します。3月31日までは、新宿にあるJR東京総合病院乳腺外科に勤務していました。女性のライフスタイルの変化とともに、乳がんの患者さまの数は世界的に増加しています。日本においても乳がん患者数は増加しており、その平均年齢は50歳前後とされ、胃がん・大腸がんと比較しても若いことが特徴のひとつです。一方で、他の医学領域と同様に、がん治療の進歩は目覚ましいものがあります。現在乳がんに対する治療は、手術治療・ホルモン療法・放射線治療・化学療法・分子標的薬療法をsubtypeにに合わせて適切に組み合わせで行っています。さらに近い将来には、再発患者さまの一部に対し、免疫療法も保険適応となるみこみとされています。また遺伝性乳がん卵巣がん症候群の診断のためのBRCA遺伝子検査も再発患者さまの一部に対し、すでに保険適応となっています。特に、30歳代以下の乳がん患者さまに対しては、乳がん治療終了後の妊娠・出産について最大限配慮することも求められています。患者さまおひとりおひとりに合わせて、適切な治療を受けていただけるように努力していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

総合診療科/救急・集中治療科 科長 片岡 惇 (カタオカジュン)

初めまして。本年度より練馬光が丘病院に赴任しました片岡惇と申します。前年度までは同じ協会内の東京ベイ・浦安市川医療センターで集中治療医、呼吸器内科医として勤務しておりました。集中治療の専門家として、重症化してしまった患者さまを一人でも多く救えるよう尽力いたします。よろしく申し上げます。

総合診療科 楠 貴之 (クスノキアツユキ)

はじめまして。総合診療科・楠貴之と申します。3月まで、鴨川の亀田総合病院で総合内科医として働いておりました。地域の皆様が健康にお過ごしいただけるよう、お手伝いできればと思います。また、後進の教育にも力を入れていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

総合診療科 横山 和久 (ヨコヤマワクイ)

東京ベイ・浦安市川医療センターの救急集中治療科から来ました横山和久と申します。専門は救急ですが、光が丘病院では内科病棟や救急外来を担当させていただきます。地域の皆様のお役に立てよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

総合診療科 野澤 祥吾 (ノザワ ショウゴ)

平成31年4月より総合診療科で後期研修として勤務をさせて頂いております野澤祥吾と申します。埼玉医科大学大学院で2年間の初期研修を終えたばかりで経験も浅い若者ではございますが、少しでも早く地域の方々に病院に貢献できるように内科医として研鑽を積ませていただきたく存じます。よろしく申し上げます。

放射線科 林 貴菜 (ハヤシタカナ)

平成31年4月より練馬光が丘病院放射線科に着任いたしました林貴菜と申します。地域の医療に少しでも貢献できましたら幸いです。何卒よろしくお願い致します。

放射線科 白田 剛 (シロタ コウ)

平成31年4月より放射線科に赴任しました白田剛と申します。東京大学医学部附属病院、公立昭和病院、NTT東日本関東病院などで、画像診断およびIVRの修練をして参りました。全身を診ることができるgeneralな放射線科医を目指し、今後も精進し、地域の医療に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

※総合診療科は院内標榜です。